

本 会 報

学会だより

◇ 常任幹事会記録

開催日：平成 16 年 2 月 28 日

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科会議室

出席者：会長 佐野芳雄，堤伸浩，吉田薫，門脇光一，矢野昌裕，根本博，谷坂隆俊，森川利信，川上直人，貴島祐治，金澤章，高野哲夫

春季学会の準備状況，役員指名幹事の人事と役割について，2005 年春季大会の取りやめに伴う問題点の整理と対策，GMO 問題等について討議した。

◇ 幹事会

開催日：平成 16 年 3 月 29 日 14:00 ~ 18:00

会 場：東京大学農学部 3 号館 4 階教官会議室

出席者：大澤勝次，江頭宏昌，平田豊，笹隈哲夫，佐々英徳，久保山勉，高岩文雄，横尾政雄，島田多喜子，長谷川博，吉村淳，佐藤光，矢野昌裕，中村郁郎，井出雄二，貴島祐治，新発田修治，三上哲夫，阿部利徳，石川隆二，高畑義人，西尾剛，大澤良，門脇光一，川上直人，高野哲夫，堤伸浩，原田久也，平野久，平野博之，藤村達人，松浦誠司，丸橋亘，三位正洋，山元皓二，吉田薫，渡邊和男，北野英巳，倉田のり，神山康夫，松岡信，村井耕二，奥本裕，上島脩志，吉田元吉，武田真，田原誠，冨田因則，前川雅彦，村田達郎，勝田真澄，金澤章，熊丸敏博，佐藤裕，根本博，松岡誠，森川利信，谷坂隆俊，喜多村啓介，佐野芳雄

報告

1. 平井篤志学会議会員から

日本学会議の在り方についての概要，その具体的改革案および日本学会議法の改正案に関する説明を受けた。

2. 各常任幹事から経過報告がなされた。

- (1) 会員数は 3 月 19 日現在，2358 名である（内訳：普通会員 1535 名，学生会員 402 名，外国会員 126 名，団体会員 198 名，賛助会員 42 名，名誉会員 9 名，その他 32 名）。
- (2) 日本学会議第 19 期育種学研究連絡委員会メンバーの発表と活動方針及びキーワードの見直しについて報告があった。
- (3) 今年度の日本農学賞を岡山大学資源生物科学研究所教授 武田和義会員が受賞したとの報告がなされた。
- (4) 平成 16 年度科学研究費審査員候補として推薦した者を報告した。
- (5) *Breeding Science* 第 53 巻には原著 32 報，速報 4 報，資料 10 報，総説 2 報が掲載された。53 巻より総説の掲

載を開始した。現在数名に執筆依頼中である。また，育種学研究は原著 6 報，総説 3 報，ノート 2 報が掲載された。

- (6) 平成 15 年度秋季大会（神戸大学）での講演数は 331 題（内取消し 3）で 658 名の参加者があった。
- (7) 2004 年秋季大会（第 106 回講演会，第 46 回シンポジウム）が三重大学共通教育校舎において 9 月 20 日（月）（幹事会），21 日（火），22 日（水）（一般公演，シンポジウム），23 日（木）（公開シンポジウム）の予定で行われる。大会運営委員長は神山康夫氏。

議題

1. 第 1 回日本育種学会論文賞は次の 2 論文に決まった。
日本育種学会論文賞 第 1 号
[著者] 岡本和之，平澤秀雄，根本博
[論文名] 陸稲関東糯 172 号における高度餅硬化性の遺伝子の同定
[掲載誌] *育種学研究* 5 (1) : 1-7
日本育種学会論文賞 第 2 号
[著者] H. X. Lin, Z. W. Liang, 佐々木卓治，矢野昌裕
[論文名] Fine mapping and characterization of quantitative trait loci *Hd4* and *Hd5* controlling heading date in rice
[掲載誌] *Breeding Science* 53 (1) : 51-59
2. 新編集委員長に奥野員敏氏（独立行政法人農業生物資源研究所）を推挙し承認された。
3. 新編集委員には大澤良（筑波大学農林系），山岸博（京都産業大学）および矢野昌裕（農業生物資源研究所）の 3 名を新たに加えることが承認された。
4. 平成 16 年度学会賞等選考委員として三上哲夫，上島脩志，西尾剛，三位正洋，平野久，原田久也の 6 名が選出された。次点には北野英巳，倉田のり，神山康夫の 3 名。
5. 平成 16, 17 年度シンポジウム委員として，門脇光一，平野博之，奥本裕，前川雅彦，高畑義人の 5 名が選出された。次点には村井耕二，松岡信の 2 名。委員長は奥本裕氏が互選で選ばれた。
6. 総会議事項として平成 15 年度決算報告，平成 16 年度予算案が検討された。
7. 平成 17 年度秋季大会は筑波大学で SABRAO 大会と合同で 8 月 19 日（金）から 22 日（日）の日程で開催されることになった。
8. 平成 17 年度春季大会取り止めに伴う措置として，2005 年の総会は秋季筑波大会で行う。2005 年春季大会の幹事会はメールや郵便で行い，決定事項は 2 号（6 月発刊）の育種学研究に掲載する。予算，同年に関する審議もメールを活用して行う。予算はこのメールの審議を基に便宜的に執行されるが，最終的には 2005 年秋季大会の総会で承認を受ける。

9. GMO 規制に関する学会の対応については、学会からの声明文を次期幹事会の審議を経て、出きる限り早い時期に発表する。今回の総会において幹事会での承認案を学会声明として認めてもらうことを提案する。
10. 日本育種学会名誉会員に、木下俊郎、日向康吉、武田元吉の3会員を推戴する旨会長より発表された。

関連報告

- 平成16年度秋季大会（三重大学）でのシンポジウム課題が次のように決まった。
 - (1) 栽培植物の起源は一元的か多元的か？—最近の研究成果から進化を考える
世話人：河原太八（京大）
 - (2) 植物栄養特性の育種への利用—窒素栄養と遺伝・育種学
世話人：長谷川博（滋賀県立大）、佐藤雅志（東北大）
 - (3) イネの応用研究は誰がになうのか
世話人：矢野昌裕（生物研）
 - (4) 遺伝子組換え体に関する法体系および国際状況について
世話人：渡邊和男（筑波大）、田部井豊（生物研）、藤村達人（筑波大）
- 笹隈哲夫会員から学術会議遺伝資源研究連絡委員会について報告があった。文科省科研費の3分野（資源保全学、育種学、環境農学）に関する審査委員候補情報を、育種学研連、関係学協会会長と調整して、学術振興会に提出した。「地場の遺伝資源を見直そう」を、今秋、鳥取大学農学部を中心に開催する。国立遺伝研と協力し、2004年6月4-5日に「遺伝資源の権利と国際動向」に関する研究集会を開催する。文科省ナショナルバイオリソースプロジェクトと連携して、遺伝資源保存事業体制の組織化・制度化に協力している。
- SABRAO2005 会議は、育種学会筑波大会（2005年8月19-21日）後、22日、23日の日程で開催する予定であることが報告された。SABRAO 会議では各種法人および SABRAO 国内委員会が立案するシンポジウムならびにポスター発表の構成になる予定である。
- 「育種学辞典」の編集は、4月に原稿作成査読完了、培風館へ渡しを終え、6月には校正刷りを行う予定。9月の三重大学会時には「購入申し込み用紙」を会員へ配布できるようにしたい。
- 農学分野での JABEE の正式な審査が開始された。当学会からは平田豊氏（東京農工大）が審査員の資格を取得した。

◇ 総会議事

- (1) 常任幹事経過報告
- (2) 日本育種学会論文賞の発表（幹事会議事参照）
- (3) 平成15年度決算報告（下記参照）
- (4) 平成16年度予算案の審議（下記参照）

- (5) 次期開催校（三重大学）の紹介
 - (6) 名誉会員の推戴（幹事会議事参照）
 - (7) 会計監事の選出（平成16、17年度学会役員参照）
 - (8) GMO 規制に関する学会対応について他（幹事会議事参照）
 - (9) 新編集委員長と新常任幹事の紹介
 - (10) 新会長挨拶
- 何れも異議なく了承された。

◇ 平成16,17年度日本育種学会役員等

会 長 喜多村啓介（北海道大学大学院）
副会長 谷坂隆俊（京都大学大学院）

選出幹事

北海道：新発田修治，三上哲夫，山口淳二
東 北：阿部利徳，石川隆二，高畑義人，西尾剛
関 東：池田良一，大澤良，門脇光一，川上直人，高野哲夫，堤伸浩，原田久也，平野久，平野博之，藤村達人，松浦誠司，丸橋亘，三位正洋，山元皓二，吉田薫，渡邊和男
中 部：北野英巳，倉田のり，神山康夫，松岡信，村井耕二
近 畿：奥本裕，上島脩志，山田利昭，吉田元信
中国・四国：武田真，田原誠，富田因則，前川雅彦
九州・沖縄：岡本正弘，村田達郎，薮谷勤，山川理

会長指名幹事

勝田真澄，松岡誠，金澤章，熊丸敏博，佐藤裕，根本博，森川利信

常任幹事

庶 務：吉田薫，金澤章，渡邊和男，大澤良，高野哲夫，堤伸浩，高畑義人，村井耕二，富田因則
会 計：門脇光一，佐藤裕
英文誌：根本博，勝田真澄
和文誌：森川利信，奥本裕
集 会：川上直人，熊丸敏博

会計監事

稲津厚生，木庭卓人

編集委員長

奥野員敏

編集委員

J. Michael Bonman，古田喜彦，林武司，廣近洋彦，池橋宏，石本政男，門脇光一，Gurdev S. Khush，岸野洋久，Andris Kleinhofs，小島昭夫，近藤禎二，三上哲夫，西村繁夫，大西近江，大澤良，岡崎桂一，大村三男，佐藤洋一郎，高畑義人，武田和義，友岡憲彦，渡邊和男，山岸博，矢野昌裕

◇ 平成 15 年度決算および 16 年度予算

収入の部	平成 15 年度決算	平成 16 年度予算
1. 前年度繰越金	3,902,183	2,055,930
2. 会員会費	17,225,970	17,206,000
3. 賛助会員会費	1,119,580	1,060,000
4. 助成金	3,550,000	2,000,000
5. 別冊等頒布	3,559,500	3,490,000
6. 雑収入	4,098,490	4,085,185
7. 寄付金	0	0
8. 運営基金より繰入	0	0
合 計	33,455,723	29,897,115

支出の部	平成 15 年度決算	平成 16 年度予算
I. 事業費	21,248,904	19,470,000
1. 雑誌刊行費	12,738,065	13,000,000
2. 別冊刊行費	3,309,384	3,330,000
3. 大会費	2,650,000	1,200,000
4. シンポジウム費	400,000	400,000
5. 学会賞費	694,055	700,000
6. オンライン費	903,000	840,000
7. 名簿作成費	554,400	0
II. 運営費	10,050,641	10,304,000
1. 学会分担金	260,250	304,000
2. 学術会議関連費	20,000	250,000
3. 事務担当者手当	300,000	380,000
4. 事務費	3,900,000	3,800,000
1) 庶務	1,100,000	1,500,000
2) 編集	2,200,000	1,700,000
英文誌	1,500,000	1,150,000
和文誌	700,000	550,000
3) 集会	400,000	400,000
4) 会計	200,000	200,000
5. 事務委託費	4,620,000	4,620,000
6. 通信費・送料	663,615	670,000
7. 付属印刷物	248,850	240,000
8. 雑支出	37,926	40,000
III. 予備費	100,248	123,115
IV. 次年度へ繰入	2,055,930	0
V. 運営基金へ繰入	0	0
VI. 学会賞基金へ繰入	0	0
合 計	33,455,723	29,897,115

基 金	平成 15 年度決算	平成 16 年度予定
運営基金	20,900,000	20,900,000
学会賞基金	3,250,000	3,250,000
50 周年記念基金	958,735	958,735

◇ 学会賞授賞式

日本育種学会賞

平野久氏 (横浜市立大学・木原生物学研究所) : 植物タンパク質の構造と機能に関する遺伝育種学的研究
 茨城県農業総合センター生物工学研究所・陸稲育種 (指定試験) グループ (代表: 平澤秀雄氏) : 栽培特性と広域適応性に優れ、東北から関東地方にかけて広く普及した陸稲極早生糯品種「トヨハタモチ」お

よび日印交配による耐干性極強・食味極良の画期的な中生糯品種「ゆめのはたもち」の育成

日本育種学会奨励賞

芦荊基行氏 (名古屋大学・生物機能開発利用研究センター) : イネ矮性の発現機構に関する分子遺伝学的研究

久保山勉氏 (茨城大学・農学部) : 交雑不親和性にみられる花粉管伸長阻害現象の研究

集会の案内

◇ 第 13 回 TIARA 研究発表会—イオンビームを利用した最新の材料・バイオ研究—

イオン照射研究施設 (TIARA) を利用した研究成果の発表が行われます。会期: 平成 16 年 6 月 28・29 日 高崎シティギャラリー コアホール (高崎市高松町 35 番地の 1) 参加費無料 問い合わせ先 日本原子力研究所 高崎研究所 大坪道朗 Tel: 027-346-9600, Fax: 027-346-9690, e-mail: otsubo@hems.jaeri.go.jp

研究助成公募の案内

◇ (財) バイオインダストリー協会 平成 16 年度化学素材研究開発振興財団記念基金「グラント」研究奨励金候補者募集

I. 対象分野および対象者: 化学またはバイオの素材に関する基礎・応用研究および利用技術開発に携わる有望な研究者

II. 対象者の資格: 交付の時点で、協会の会員 (個人会員, または賛助会員会社・維持会員会社の役員・従業員) であり、年齢 50 歳未満であること。

III. 採用件数: 毎年 7 件以内

IV. 奨励金: 1 件につき 50 万円

V. 申込み方法: 規定用紙により、応募される研究の題目およびその概要、研究者の略歴、研究論文リスト等を提出していただきますので、ご所属・ご氏名・送付先を明記の上、下記にご連絡下さい。規定用紙をお送りしますので、以下の提出期限までにご提出下さい。なお、規定用紙は (財) バイオインダストリー協会ホームページからもダウンロードできます。

VI. 書類提出締切: 平成 16 年 7 月 9 日 (金) 必着 郵送でご提出下さい。(電子メールによる提出は受け付けません。)

VII. 選考方法: 交付対象者は、本分野の学識経験者で構成する選考委員会において審議し、決定します。選考委員会の審議内容は公開致しません。

VIII. 問い合わせ・申込み先: (財) バイオインダストリー協会 (担当: 井口博史, 矢田美恵子) 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング 8F Tel: 03-5541-2731, Fax: 03-5541-2737, e-mail: yata@jba.or.jp, URL http://www.jba.or.jp

各賞推薦の案内

◇ 農学進歩賞候補者推薦の依頼

このたび日本農学会加盟学会に対し、(財)農学会から農学進歩賞受賞候補者の推薦依頼がありました。つきましては日本育種学会から候補者を推薦したいと思いますので、会員の皆様からの推薦をお願いいたします。皆様からの推薦に基づき、日本育種学会賞等選考委員会が選考に当たります。推薦される方は、下記の「農学進歩賞規定」に記してある推薦書式を財団法人農学会のウェブサイト (<http://www.nougaku.jp/>) からダウンロードし、必要事項を記入して、下記送付先にお送り下さい。

推薦書送付先：〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目
北海道大学大学院農学研究科 金澤章 電話：011-706-3873, e-mail: kanazawa@res.agr.hokudai.ac.jp 締切日：平成16年6月30日

農学進歩賞規定

趣旨：人類と多様な生態系が永続的に共生するための基盤である農林水産業およびその関連産業の発展に資するために、農学の進歩に顕著な貢献をした者を顕彰する。

- 1) 授与団体：財団法人農学会
- 2) 授賞対象者：当該年度の10月1日時点で、40歳未満の者。国籍は問わない。
- 3) 授賞対象分野：生命科学、環境科学、生物生産科学、食品科学、国際貢献その他を含む広義の農学分野。
- 4) 授賞件数：毎年10件程度
- 5) 推薦者：日本学術会議第6部に登録されている農学系学協会の長、国公立大学農学系学部長、あるいは産官学いずれかの研究所長が毎年1名に限り推薦できる。
- 6) 公募時期：毎年7月1日～7月31日(1カ月間)。
- 7) 審査：財団法人農学会に設けられた農学進歩賞選考委員会が審査する。
- 8) 授賞時期：毎年10～12月。シンポジウムを開催し、シンポジウム場で表彰する。
- 9) 推薦書類：定められた様式で推薦書に必要事項を記入して、財団法人農学会事務局に、「農学進歩賞応募書類」と朱書きして「書留郵便」で郵送する。
- 10) 推薦書式：推薦書式は、財団法人農学会のウェブサイト(ホームページ) <http://www.nougaku.jp/> からダウンロードできます。推薦書式は、下記の財団法人農学会事務局に、FAXまたは電子メールで申込むことによっても入手できます。電話はご遠慮下さい。

事務所：〒113-8657 東京都文京区弥生1丁目1番1号 東京大学大学院・農学生命科学研究科 弥生講堂内 (財)農学会事務局 FAX: 03-5841-8206, e-mail: yayoi@ofc.a.u-tokyo.ac.jp, TEL: 03-5841-8203

- 11) 問合せ先：電子メールまたはFaxで、上記の(財)農学会に問合せ下さい。メール発信人の氏名、所属、住

所、連絡先などは必ず明記して下さい。電話での問合せはご遠慮下さい。

- 12) その他：財団法人農学会の会則、役員構成、事業内容などについては、財団法人農学会のウェブサイト(ホームページ) <http://www.nougaku.jp/> をご覧下さい。

日本育種学会会員異動(2004.1.21～2004.4.20)

◇ 普通会員入会：鈴木達郎(北海道)、Eakhlas Uddin Ahmed, 阪口誠二, 中村澄子, 保坂壮彦(茨城), 土井寿子(群馬), 加藤和弘(千葉), 大川泰一郎, 小栗佳子, 川合伸也, 木村宏, 宮下千枝子(東京), 清水顕史, 吉田光毅, 吉村和馬(神奈川), 東利昭(静岡), 木谷雅和, 佐藤豊, 寺島竹彦(愛知), 森重之(京都), 北條雅也, 横井修司(奈良), 石附俊男, 長岐清孝, 西田英隆(岡山), 岩田光(広島), 佐伯由美(福岡)

◇ 学生会員入会：氏家綾, 内山貴子, 川西由紀, 神田正典, 小関麻衣子, 村上賢悟(北海道), 大久保裕美, 佐藤美奈子(青森), 及川愛(岩手), Babak Behnam, Wan Yusong, アサワパンパキニー, 植木千恵, 齋藤利弥, 伴雄介, 村田夏子, 吉川紗代(茨城), 松木裕美(千葉), 久保賢太郎, 仙波佐智子, 堀田雄司, 山口貴大, 米本智仁(東京), 廉隅紗代, 立石洋子, 舟橋達也, 松本佳代, 吉田卓弘(神奈川), 五十里千尋, 岩崎理恵, 漆川直希, 山本優子(福井), 庄司理恵(愛知), 律娜, 石橋篤志, 高木正志, 宅野将平, 堀川明彦, 吉川琢也(京都), Ye Tun Tun, 久場章弘(大阪), 江川千佳子, 久米忍(兵庫), オーマーズウ, 河野律子, 園田智広, 永山宇, 松下修司, 山形悦透(福岡), 西美友紀(佐賀), 吉原法子(宮崎)

◇ 外国会員入会：Chung Geum-Lyul, Hwang Yound-Hyun, Kim Han-Kyun, Nan Ji Yeon, Sin Seo Mu(大韓民国), Swets Information Services(HOLLAND), Cesare Martinotti (ITALY)

住所変更等

◇ 普通会員：相川宗嚴, 岡本吉弘, 佐藤裕(北海道), 野田尚信(青森), 山岸紀子(岩手), 瀬尾(白澤)直美, 千葉直樹, 宮澤豊(宮城), 高品善, 渡邊毅巳(山形), 安倍史高, 大川安信, 大島正弘, 岡洋一, 喜多正幸, 小沼明弘, 副島淳一, 高岩文雄, 田谷省三, 樽本勲, 土門英司, 中村英光, 中村ゆり(茨城), 石田康幸(埼玉), 大村武史, 小川大輔, 小川洋一, 坂本晋一, 立石弘之, 深井英吾(千葉), 武田憲英, 野口貴(東京), 井川智子, 栗原宏幸, 渡辺直子(神奈川), 小島洋一朗, 宝田研(富山), 岡崎利一, 海内裕和(長野), 大塚寿夫, 大村三男, 平林利郎, 吉田俊雄(静岡), 山川智大(三重), 村上敦司(滋賀), 田中國介(京都), 河野和男, 寺石政義(大阪), 片山寛則(兵庫), 荒巻功(香川), 大岡久子, 和田卓也(福岡), 岡本正弘(熊本), 陳蘭莊(宮崎), 大前英(沖縄)

◇ **学生会員**：安野奈緒子（北海道），日下雅之，小堀智史，砂山陽亮，手塚孝弘，堀井学，吉岡洋輔（茨城），林麻衣（千葉），榎戸彩子，川勝泰二（東京），松本佳代（神奈川），奥ゆかり（滋賀），尾川武史（大阪），水本公大（兵庫），松井和幸（和歌山）

◇ **団体会員**：独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所リンゴ研究部，独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構東北農業研究センター企画調整部情報資料課（岩手），東北農業研究センター水田利

用部大豆育種研究室（秋田），エスピー食品（株）商品本部第一研究開発ユニット（東京），静岡県農業試験場わさび分場（静岡），高知大学附属図書館農学部分館（高知），農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター野菜花き研究部（福岡），独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構九州沖縄農業研究センター作物開発部さとうきび育種研究室（鹿児島）

◇ **外国会員**：Xiaochuan Liu（中華人民共和国），Rita Pacho Laude，Tonette Pacho Laude（PHILIPPINES）